



教育創生会議

H29

コミュニティ・スクール

チーム学校実現のための
業務改善推進事業

学力向上推進事業

元気な東みよしっ子育成事業

小中一貫教育
「徳島モデル」推進事業

幼・小・中連携推進事業
学びのかけ橋プロジェクト

インクルーシブ教育推進事業

首長部局等との協働による
新たな学校モデル構築事業

東みよし町
教育委員会

校長会

教頭会

幼小中一貫
教育推進会議

豊かな心部会

学力向上部会

健康安全部会

東みよし町立学校 学園構想

東みよし町教育目標

未来を創造し
逞しく生きる
子どもの育成

三加茂学園

大地に根をはる逞しい子ども
～たくすのごとく～

三加茂中学校

目標	めざす生徒像
知育・徳育・体育の調和のとれた教育活動を通し、自己肯定感・自己有用感を獲得し、目標をもって生きる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 探究心に燃え、学力のある生徒 自らを律しつつ、思いやりの心をもった生徒 健康で体力のある生徒

加茂小学校・三庄小学校

目標	めざす児童像
自分に自信をもち、他と協働できる子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> 進んで学ぶ子 思いやりのあるやさしい子 健康でたくましい子

加茂幼稚園・三庄幼稚園

三好学園

大空に伸びゆく逞しい子ども
～阿讃の峰のごとく～

三好中学校

目標	めざす生徒像
生徒の人格の完成をめざし、伝統と文化を尊重するとともに、未来を創造し逞しく生きる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 健康で明るい生徒 豊かな心と確かな学力をもつ生徒 自ら伸びようと努力する生徒

足代小学校・屋間小学校

目標	めざす児童像
自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> よく考える子 思いやりのある子 たくましい子

足代幼稚園・屋間幼稚園



教育創生会議
幼小中一貫教育推進会議



フリー授業参観
乗り入れ授業（小→幼、中→小）



15

教職員の感想

- **小中学校の先生と一緒に話ができよかった。** 高学年から中学校へと結びつける学年であり、中学校で困っていることが少しでも解消されれば、子どもたちの将来が広がっていく。**教職員同士や子ども同士のつながりを大事にしたい。**
- **校種を越えてさまざまな意見を聞き、情報交換できてとても参考になった。** 課題に対して、**教師自身の変容も、子どもの変容とともに大切なことだ**と感じた。
- 小・中が合同で意見交換ができるのは、**学校間の関係が良くなるだけでなく、教師個人の視点も広がり、教師力が上がる。**

コミュニティ・スクール連携協議会

- 教育委員長
- 教育長
- 教育委員会事務局
- 運営協議会代表
- 学校長
- コミュニティ担当
- 学校事務職員
(コーディネーター)

学校教育課

生涯学習課



三好学園



三加茂学園

学校運営協議会

学校支援隊

地域コミュニティ，生涯学習（人材バンク）

合同学校運営協議会

三加茂学園

三好学園



学校支援隊の活動



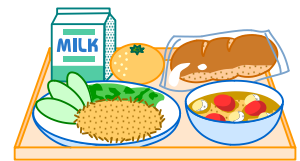
あいさつ運動

運営委員の発案により4年前から実施

- ・授業日は毎日、雨の日も風の日も
- ・強制でなく、自主的に。
- ・威圧感を与えないよう工夫。



毎月1日をTomoni DAYとして
生徒ともに給食を食べる



L u n c h d e T o m o n i

19



書写支援

- ・学期に各クラス1時間程度
- ・夏休み書道教室 Enjoy Sho!



匠の技に学ぶ

技術科支援

20

夏休み学習支援



鳴門教育大学の協力による
夏休み自主学习



読み聞かせ

毎月第1・第3水曜日
8:05~8:20
(教職員は職員打ち合わせ)
「どんぐりの会」・保護者・地域住民



- ・生徒の居場所作り
- ・ふれあいを通し人間関係を築く
- ・心の健康における問題の
早期発見・予防

ふれあい広場

Let's enjoy learning !



青年太鼓



23

グリーンカーテン



菊づくり

24

交通安全教室



放課後子ども教室に参加される皆さんも学校支援隊

放課後子ども教室

25

阿波おどり



小学校1・2年生対象の学習支援

丸つけ隊



地域の皆さんとともに踊る阿波おどりは、コミュニティ・スクールの原点

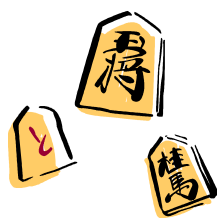
お囃子にも挑戦



26

クラブ活動支援

囲碁・将棋クラブは大人気



調理実習支援

27

地域防災学習

- ・ 運営協議会が中心に実施
- ・ 炊き出し、水消火器、放水体験等
- ・ 関係団体との協働



- ・ 夏休みに昔の遊びを体験
- ・ 地域の昔の様子や戦争体験に耳を傾ける



高齢者と語る子どもの会

28

外国人児童学習支援

日本語が十分でない
児童への個別対応



小学生対象の英語教室開催

英語教室

学校支援隊登録者数の推移

各年度末（H29は除く）

	H20	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29.9
加茂小	27	45	68	80	93	93	100	114
三庄小		15	42	72	99	99	103	131
三加茂中				15	15	15	27	27
足代小				24	31	31	112	152
風間小				18	44	54	83	83
三好中				9	14	14	21	21
合計	27	60	110	218	296	306	446	528

CSについて鳴門教育大学教員の声

H26年度から2名の鳴門教育大学大学院准教授がCS活動に参加

- 学校運営協議会に参加して
 - ① 具体的な活動が各部会で「熟議」され、計画・実施されている。
 - ② 「熟議」を進めることで、地域住民・保護者・教職員が同じ「**主体者**」としての意識を持って活動が練られており、一方的な地域まかせや学校まかせになっていない。
 - ③ 「熟議」において、少しずつ地域・保護者・教員の間で、「相手の立場」も理解した上での提案や議論がされるようになってきている。**一方的な批判や要求は見られない。**
- 学校支援隊の活動に参加して
 - ① 支援をする地域住民にも「喜び・楽しさ」が実感されている。
 - ② 子どもと地域住民との間でのよき人間関係が形成されつつある。
 - ③ 子どもたちも楽しみになってきている。保護者の間での認知・参加も増えつつある。
 - ④ **教員が子どもの変化に気づき、活動に協力的になっている。**

CSによって子どもがどう変容したか

